



福音館書店販売部発行

そろそろ夏にむけてのご準備が進んでいらっしゃるでしょうか。今月のふくみみでは、夏休みにむけて課題図書のご紹介のほか、書店員さんからおすすめいただいた童話を集めています。



音には、目に見えないけれどイメージさせる強い力がある。ふたつの耳と脳が力を合わせて、ぼくたちのそうぞう力をかきたてる。それはとても自由で、かぎりなくのびのびした感覚だ。さあ、耳をすまして、心にかいたけしきをいっぱい広げよう。

人間の耳が聞き取れるのは、だいたい1秒に20回くらいふるえる低い音から20,000回もふるえる高い音まで。しかし、動物たちには人間の耳に聞き取れない音を出しているものがたくさんいます。さまざまな生き物が発する声や、物体が伝える音波について分かりやすく伝えているのも本書の魅力のひとつです。

# 第70回 青少年読書感想文 全国コンクール 小学校中学年の部 課題図書に 選定されました

長くオーディオ専門の執筆活動に携わってきた著者が語る音と耳のはなし



## 聞いて聞いて! 音と耳のはなし

高津修、遠藤義人 文・長崎訓子 絵  
本体価格：1600円 対象年齢：5・6才から  
シリーズ名：科学シリーズ

音は震える空気の波。大きな音は大きくうねり、高い音は細かく震える。2つの耳で聞くと、いきいきと立体的に聞こえるんだよ。



担当編集者より  
音は空気の波、ふるえる。けれども、著者の高津さんは「ふるえる空気イコール音」と言ってしまうのは、ちょっと不正確だと考えています。たとえば音波やネコが感じる高い音波、人間の耳は聴きとることができません。空気のふるえとして存在することが理解できても私たちの耳には聞こえない、つまり音として感じられない音波もありません。耳に聞こえないことには音にならない。それが音波なのです。  
左右の耳が受け止めた音には、ほんのちよつとしたズレがあります。そのおかげで、脳は音の鳴っている方向や場所を、より正確に判断することができるようになります。この現象はステレオ効果と呼ばれています。読み終わったら、試しに目をつぶって、身のまわりの音に耳をすましてみてください。きつと、ふたつの耳と脳が力を合わせて描き出す、ゆたかな音の情景を味わっていただけることでしょう。

※課題図書のご注文は取次店様までお願いいたします。

# 『石は元素の案内人』著者が語る 新鉱物発見と登録の舞台裏!



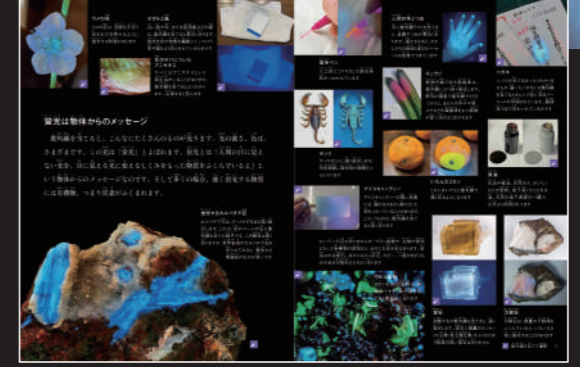
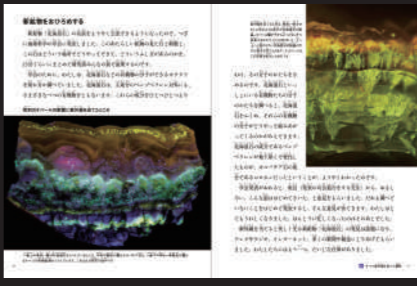
7月の新刊

たくさんのふしぎ2024年8月号

## 光る石 北海道石 新鉱物Hokkaidoiteはっけん記

田中陵二 文・写真  
本体価格：736円 サイズ：25×20センチ 頁数：48  
対象年齢：小学3年生から 発売日：7月3日

石が好きなお子様たちは、いつかは自分の手で、新しい石、新鉱物を見つけたいと願うものだと思います。では、どんな人がどんな風に新鉱物を見つけるのか? 石の名前はどんな風につけるのか? そんな疑問に応える本ができたなら、北海道石発見者・命名者の田中陵二さんが、石との出会いから描く新鉱物の発見譚。



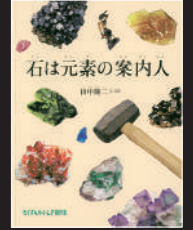
作者の言葉より  
この本では、わたしが研究チームの仲間とともに、新しい鉱物を見つけて、調べて、名前をつけ、世界に紹介した話をします。その石は、紫外線を当てると黄色や緑色にうつしく光る、ふしぎな性質をもつ新しい鉱物でした。こんなハントコでうつくしい石が、いままでも、だれにもその秘密をあかされることなく北海道の山々にひっそりと眠っていたのです。さらによく調べてみると、この新鉱物「北海道石」は、わたしたち生命をつくりだすために欠かせない元素「炭素」をふくむこともめずらしい石だということがわかりました。



刊行のたびに話題沸騰! 田中陵二さんによる 鉱物の絵本



たくさんのふしぎ 2023年10月号 「いろいろな色のはじまり」



「石は元素の案内人」 「たくさんのふしぎ傑作集」



## BOOKインタラクティブからの 新刊の予約注文をおすすめします

<https://www.bookinter.intage.jp/Intagesystem/Store/>

- \*初回ログインには登録が必要です。IDとパスワードでログイン。
- 出版社のおすすめ情報をクリック。
- 出版社の選択ボタンをクリックし、「は行」から「福音館書店」を選択。
- 新刊注文 からご注文を希望する「ふくみみ●月号」を選択。→右図のような、該当月の画面が表示されます。



ご希望数を受注締切日までに ご入力ください。締切日までは、何度でも修正可能です。

番線・コードが表示されます。 約3日後に表示されます。 確定数は受注締切後、表示されます。



お問い合わせ先  
☎113-8686 東京都文京区本駒込6-6-3  
FAX 03-3942-7950  
株式会社福音館書店 販売部ニュース係  
\*掲載している新刊の刊行日・表紙画像・頁数は変更場合がございます。

WEBから商品をご注文いただけるようになりました  
<https://www.bookinter.intage.jp/Intagesystem/Store/>  
(Book インタラクティブ)

●書店情報をご登録頂ければ無料でご利用頂けます。  
●HP上で在庫確認及び発注が可能です。 ●客注番号の付与も可能です。

販売部のTwitter/Instagram  
[@fukuinkanhanbai](https://twitter.com/fukuinkanhanbai)



9月に第5巻が  
刊行決定!  
どうぞお楽しみに!

“試し読み”  
公開中です



怒涛の展開から目が離せない!  
小・中学生からの熱烈な支持多数!  
「私立探検家学園」シリーズ  
さいとうりん 作 / くわばらたく 画  
斉藤倫 作 / 桑原太矩 画

2014年『どろぼうのどろぼん』での長編物語デビュー以来、詩人・斉藤倫作品に魅了され続け、斉藤倫特集の絵本通信を作成し、一年中平台や棚でフェアを展開しています。「私立探検家学園」シリーズは、テンポよくすすむ会話中心でありながら琴線にふれることばは写本必至。人気漫画家・桑原さんのポップな表紙にも惹きつけられ、挿絵も個性あふれるキャラ設定。漢字はかなり仮名にひらいて読みやすい。それぞれのネーミングも陰ります!!  
仲間と共に「実習」を通して鍛えられていくのは、既存の世界認識への問題意識であり、違和感や直感を信じる強さ。3つの校訓は、正解のない世界を生きぬく力に不可欠と気づかれます。  
(代官山 蔦屋書店 山脇さん)

単なる「冒険もの」で終わらず、歴史的背景も描かれていて、幅広い年齢層がたのしめるシリーズだと思えます。  
言葉が省略されている読み物が多いなか、言葉がとても丁寧に書かれているので、よみやすく、そこもいいですね。そして、スピード感のある展開なので、非常におもしろいです。  
続きをたのしみに待っていてくれる、中学校1年生のお客さまがいます。  
続編がたのしみです!  
(こどもの本の広場 会留府 阿部さん)

既刊サイン本の在庫が若干数ございます。  
ご希望の際はお問い合わせください。

# 書店員さんおすすめ! 夏休みに読みたい 童話特集

夏休みは、少し長いお話やシリーズ物に挑戦する絶好の機会!  
ということで、書店員さんにおすすめの童話や展開方法についてご紹介いただきました。  
お店でのご展開の様子とあわせてお届けいたします!



とにかく笑えて面白い!  
時をかける落語少年・  
サダキチが大活躍のシリーズ  
「落語少年サダキチ」  
シリーズ(全5巻)

たなかひろふみ 作 / あさくら せいかいち 画  
田中啓文 作 / 朝倉世界一 画

“試し読み”  
公開中です



子どもって、こんなに落語が好きなの!?  
店頭に来る子どもたちの話を聞いて、小学生の間では落語ムーブメントが起きていることを知りびっくり。私は落語が詳しくないけれど、それでもこのスピード感と爽快感にやられました。落語を知っててもそうじゃなくても、とにかく思いっきり笑えますよ、とおすすめしまくった一冊です。  
読後はスッキリ。ストレスだらけの大人にも効いちゃいます。ぜひ、親子読みしてほしいですね。(丸善丸の内本店 兼森さん)

第30回  
読書感想文  
コンクール  
課題図書!



現代の“おとぎ話”といわれる  
ユーモアあふれる幼年童話

## 『おもちゃ屋のクイロー』

ジェームズ・サーバー 作 / 上條由美子 訳 / 飯野和好 絵

昔話の形式を踏襲しつつも作者独特のユーモアと風刺が冴え、幼い子どもから大人まで様々な年代が楽しめる作品です。非力なおもちゃ屋のクイローが知恵を使って見事に大男ハンダーをやりこめる様は痛快!

劇作家やジャーナリストの顔を持つ作者は、お話の中にある「抵抗」の方法を描き出していますが、そこには「物語の力」や「非暴力」といった現実の世界でも重要な要素が含まれています。そしてなにより、危機に立ち向かうクイローの明朗快活で誠実な優しさが物語全体を力強く支えていることが、この短いお話の最大の魅力と言えるでしょう。  
(教文館ナルニア国 川辺さん)

世界中を旅した探検家でもある  
チボル・セケリが描くジャングルの物語

## 『ジャングルの少年』

チボル・セケリ 作 / 高杉一郎 訳 / 松岡達英 画

ジャングルの少年と出会う「わたし」の視点で淡々と起こったことを描き出している本書は、まるでノンフィクションの読みものよう! ジャングルで暮らす少年のたくましさは目を引きまします。野生に生きるって、こういうことかとも思えます。ジャングルの生きものや様子を的確に描写した松岡達英さんの挿絵も素晴らしい! 普段お話の本を読みなれない子ども「本当の話?」と思って、飽きずに読んでくれそうです。

(教文館ナルニア国 菅原さん)

この作品をすすめたい! 熱い想いで  
様々な展開を企画してくださいました

## 『オイモはときどきいなくなる』

田中哲弥 作 / 加藤久仁生 画

2021年7月に『さいごのゆうれい』(斉藤倫著・西村ツチカ画)とともに、絵本通信で特集し、原画展示・ジークレイ販売を行いました。またオリジナルグッズ製作販売を通して作品の魅力をお届けする他、俳優・山中崇さんの朗読劇イベントや作家トークイベントも開催。以後、年間を通し読み物平台や棚でも面展開し、たくさんのお客様へ手渡しています。

加藤久仁生さんの描く紫陽花の頁をはじめ、四季折々の美しさやモモヨとオイモのほっこりシーン、底抜けに明るい笑い声がきこえてきそうな子ども部屋の様子などもご紹介し、田中さんの紡ぎだされる美しい文章と夢うつなゆらぎに包まれる深い読書体験をおすすめしています。  
(代官山 蔦屋書店 山脇さん)

“試し読み”  
公開中です

